

交換留学のための Q & A

Q1 交換留学とはどのような留学制度ですか

静岡大学が海外の大学と締結した協定中の「学生交流の覚書」に基づき学生を派遣する制度です。派遣先大学での授業料は協定に基づき免除になります。(大学によっては授業料免除で受講できる授業・単位数に制限があり、その制限を超えた分の授業料は自己負担になります。)

交換留学は単位の取得を目的とした留学で、留学先では自分の専門または興味のある分野の学部へ所属します。交換留学を修了すると、全学教育科目「海外交換留学プログラムⅠ」「海外交換留学プログラムⅡ」の認定を受けることができます(留学期間が半年の場合1科目、通年の場合2科目)。また、留学先で取得した単位が静岡大学で開講されている科目と同等であると所属学部で認められた場合は、全学教育科目または専門科目の単位として認定されます。

Q2 学力・語学力の基準はありますか

静岡大学が設定する基準と派遣先大学が設定する基準があります。

まず、応募時点で、累積 GPA 値が 2.0 以上(大学院生においては学部時の成績)の学力と、勉学生活が可能な現地語能力または CEFR B1 以上に相当する英語能力(TOEFL iBT42 以上、TOEFL ITP(団体受験)440 以上、TOEIC L&R/TOEIC S&W1150 以上、TOEIC L&R 550 以上、英検準 1 級以上、IELTS4.0 以上)が必要です。

そして、派遣先が要求する語学基準は募集要項の別紙「令和3年度(2021年)派遣協定校交換留学のための語学能力の基準」参照ください。この別紙に記載されている基準を満たさなければ、たとえ学内選考で合格しても派遣することはできないのでご注意ください。

Q3 協定校の情報・資料はどこから入手できますか

協定校の基本情報や協定校から送られてきた資料は、国際交流課と国際交流ラウンジにまとめてありますので自由に閲覧できます。(浜松キャンパスの学生へはデータを送りますので、希望があれば国際交流課にご連絡ください。)ただし、必ずしも全協定校の最新資料があるわけではないため、各校の Web サイトでも確認することをおすすめします。

Q4 実際に留学した先輩達の経験談を聞きたいです

国際交流課から留学経験者にコンタクトがとれる場合があります。希望があれば国際交流課にご連絡ください。また、留学経験者の報告書も国際連携推進機構 HP に「留学体験談」として掲載していますので、こちらもご覧ください。

交換留学のための Q & A

Q5 現地での生活費はどれくらい必要ですか

派遣先の国によって異なります。参考までに昨年度交換留学生から報告された実費は以下のとおりです。(報告内容を掲載したもので、空欄だからといって費用がかからないとは限りません。)

国	アメリカ	ドイツ	ブルガリア	マレーシア
派遣先大学	ネブラスカ大学オマハ校	ブツパール大学	ソフィア大学	テイラーズ大学
往復航空賃	20万円	25万円	15万円	5万円
教科書・授業諸費用	3万円	4万円		1.5千円
食費(月)	3万円	2万円	2万円	2万円
住居費(月)	7万円	3万円	5千円	3.5万円
通信費(月)	2千円	1.5千円	2千円	8百円
現地保険料(月)	1万円	1.2万円		1万円
現地交通費(月)			2千円	5千円

この他、OSSMA(年) 約3万円、海外保険料(年) 約10万円、ビザ発行費、予防接種費等がかかります。

Q6 交換留学をする場合、休学や留年しなければなりませんか。

交換留学は休学せず、本学に在学したまま参加することもできます。留学前後に集中して単位を取得したり、留学時に取得した単位の認定制度やCAP制の緩和を利用することで、4年間での卒業も可能です。卒業までの履修計画を立てるにあたって、指導教員や所属学部の学務係等に相談してみましょう。

Q7 大学院(修士)学生や外国籍の学生でも交換留学に応募できますか

大学院生も外国籍の学生も応募可能です。
大学院生：協定校の中には、交換留学生が大学院生向けの授業を受講することを認めていない大学があります。その場合は学部生として派遣され、学部生向けの授業を受講します。
外国籍の学生：出身国への派遣は原則不可などの条件がありますので、応募前に一度国際交流課に確認してください。